

【製品評価技術基盤機構】

平成27年度第4／四半期における公益法人等への会費支出の状況

平成28年 5月 23日時点

交付先法人名称	名目・趣旨	交付額 (単位:円)	支出先法人が定める 会費一口当たりの 金額、もしくは最 低限の金額 (単位:円)	交付日等 (支出決定日)	支出の理由等
2 (一財)日本規格協会	研修会参加費	798,120	-	5月21日 8月12日 8月24日 11月13日 12月18日 12月24日 3月15日 3月29日	工業標準化法に基づく製品認証機関登録制度等にかかる業務において審査員は立入検査を行うにあたり、その資格基準として品質管理に関する適切な知識を持っていることが要求される。そのため、当該知識等を習得できる研修を受講するもの。 (研修8種のべ11人) ○第1回ISO国際標準化研修-入門編 受講料 11,880円 ○品質管理セミナー-入門コース(2日間) 36,720円 ○第1回IEC国際標準化研修-入門編 受講料 23,760円(11,880×2人) ○ISO国際標準化研修-中級編 受講料 14,040円 ○品質管理と標準化セミナー 334,800円 ○IEC国際標準化研修-中級編 受講料 28,080円(14,040×2人) ○研修「JIS品質管理責任者セミナー-専修科」 241,920円(120,960×2人) ○品質管理セミナー-入門講座(全6日間) 106,920円
3 (公社)日本生物工学会	出展料、参加費	270,400	-	10月7日 11月4日 1月19日	当該学会は大学、公的機関、製薬企業、化学企業、食品企業等の微生物研究者が集う大規模な年次大会を開催し、この大会でブース展示を行うことにより、業務に必要な情報を入手し、機構業務に活用することを目的とするもの。 (出展料1種、参加費1種のべ2人) ○第67回日本生物工学会大会附設展示会 248,400円 ○第67回日本生物工学会大会 参加費 22,000円(11,000×2人)
8 (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC受験料	108,142	-	7月6日 7月10日 7月21日 7月30日 8月4日 9月1日 9月7日 9月15日 11月16日 1月8日 1月13日 1月29日 2月1日 2月3日 2月5日 2月8日 3月14日 3月23日	現在日本の多くの一般企業で社員の英語力の把握にTOEICが参照されており、TOEIC公開テストは有効性があると考えられる。そのため、当該交付先のTOEICテストを英語力測定のため採用することとする。 (受験19人) ○TOEIC受験 103,050円(5,725×18人) ○TOEIC受験(レポート割引) 5,092円

9	(一社)日本化学工業協会	年会費	100,000	-	3月31日	<p>当該交付先が主催する化学物質のリスク評価に係る種々の評価技術に関する研修に参加することにより、化学物質の管理等業務の実施に必要な当該評価技術を修得するため。</p> <p>(年会費1種) ○平成27年度年会費 100,000円</p>
10	(一社)日本化学物質安全・情報センター	年会費、研修会参加費	278,000	-	1月4日 3月14日	<p>当該交付先は国内外の化学物質管理に関する法規性等の情報を収集し、情報を発信している。そこに含まれる国内外の行政及び業界の動向に関する情報やトピック、化学物質の安全性及び毒性情報に関する専門誌や学術雑誌の翻訳、抄録等の最新情報を毎月定期的に得るため。</p> <p>(年会費1種、研修1種のべ2人) ○平成27年度年会費 250,000円 ○「第65回講習会東南アジア化学品規制の概要」参加費 28,000円(14,000×2人)</p>
11	(公社)日本農芸化学会	出展料、参加費	218,000	-	3月31日	<p>機構の業務活動の成果を広く国民・社会に対して円滑、効果的に普及させるため、各種展示、一般公開等の様々な広報手段を活用し、効果的かつ効率的な広報活動を推進することとしており、当機構の実施する菌株提供業務に係る広報を、当該業務の主な利用者になりうる農芸化学にかかわる企業向けに開催される「日本農芸化学会2016年度大会」へ出展を行った。</p> <p>(出展料1種、参加費1種のべ11人) ○日本農芸化学会2016年度大会出展料 108,000円 ○日本農芸化学会2016年度大会参加費 110,000円(10,000×11人)</p>
合計			1,772,662			